

JA 小文字カット用キット

このキットについて

このキットには、細かい模様をカットするのに適した小文字カット用ホルダー（替え刃付き）が付属されています。また、CanvasWorkspace（Windows/Mac）にはカス取り枠追加と分割出力の二つの機能が追加されます。これにより、ビニールステッカーシートやアイロン熱転写シートの素材を使用した作品や、マットのサイズを超える大きな作品も扱えるようになります。

これらの機能はブラザーカッティングマシン ScanNCut DX のみに対応しています。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

窒息のおそれがあります。

- * このキットを玩具として使用しないでください。ホルダーの保護キャップを飲み込むと、窒息のおそれがあります。保護キャップは幼児が飲み込まないように注意してください。
- ・ 本体にホルダーを取り付ける前に、保護キャップを取り外してください。
- ・ 手や指でホルダーの先端を押さないでください。刃が出てきてけがをするおそれがあります。

使用上の注意

- ご使用になる前に、P.13 の「ご使用の前に知っておくべきこと」をお読みください。
- カッティングマシン本体の使用方法是、マシン本体の取扱説明書をご覧ください。
- この説明書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されている製品の画面は、実際のものと異なることがあります。

事前準備

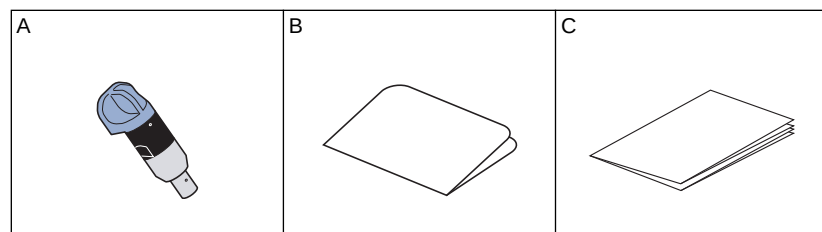
このキットをお使いいただくためには、以下の事前準備をお願いします。

1. カッティングマシン本体の無線 LAN 接続とマシン登録の設定
2. カッティングマシン本体を最新ソフトウェアにアップデート
3. 専用アプリ CanvasWorkspace を最新バージョン（Ver.2.4.0 以降）にアップデート

アプリをお持ちでない方は、ブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cuoae/>）からダウンロードすることができます。

付属品

キットを開封後、付属品を確認してください。
ご購入のキットによって、同梱されている付属品は異なります。



名称	
A	小文字カット用ホルダー（替え刃 ^{*1} 付属）
B	分割出力とカス取り枠追加機能および 21 模様の認証カード
C	模様一覧

^{*1} この付属品は消耗品です。刃を交換する際は、自動調整用替え刃（小文字カット用）（CADXBLDV1）をご購入ください。別売品の購入に関しては、本製品をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

CanvasWorkspace で機能を認証する

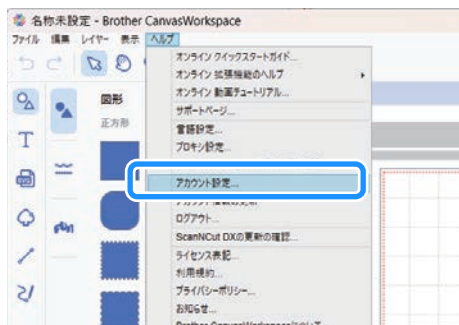
CanvasWorkspace でカス取り枠追加機能と分割出力機能を認証します。認証後、21 模様がオブジェクトパネルに追加されます。

■ 準備

- CanvasWorkspace を使用する際には、無料のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、インストール後の画面から「サインイン」をクリックし、画面の説明に従ってアカウントを作成してください。作成したアカウントは Artspira（アーツピラ）アプリでもお使いいただけます。
- マシン本体のマシン登録設定ですでにアカウントを作成済みの場合は、同じアカウントでログインしてください。
- CanvasWorkspace をお手持ちのパソコンに既にインストール済みで、最新のバージョンにアップデートする場合は、CanvasWorkspace の「ヘルプ」メニューから「CanvasWorkspace の最新版を確認 ...」を選択し、画面の説明に従ってアップデートしてください。

1 CanvasWorkspace を起動します。

2 CanvasWorkspace の「ヘルプ」メニューから「アカウント設定 ...」を選択します。



3 「拡張機能の認証」をクリックします。

4 付属の「分割出力とカス取り枠追加機能および 21 模様の認証カード」に記載されている認証コードを入力し、「認証」をクリックします。

- ・ 認証にはインターネット接続が必要です。
- ・ アルファベットの「O」と「I」は、認証コードでは使用していません。
- ・ 認証コードは 1 つのアカウント ID に対してのみ有効です。同じ認証コードを再度使用することはできません。



5 認証確認画面が表示されますので、内容を確認し、問題なければ「認証を確定する」をクリックします。



6 「OK」をクリックすると認証が完了します。

7 認証が完了したら、オブジェクトパネルに「小文字カット用」カテゴリが追加され、同梱の小文字カット用ホルダーでカットするためにデザインされた 21 模様が選択できます。

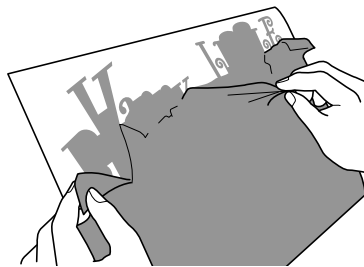
カス取り枠追加機能について

模様をカットした後、必要な部分を剥離紙や剥離フィルムに残して不要部分のみを剥がす作業を、カス取りと言います。カス取り枠追加機能を使って、模様の周りや間にカット線（カス取り枠、カス取り線）を入れることができ、不要部分が剥がしやすくなります。



カス取り枠やカス取り線の有無により、下記の違いが生じます。

- カス取り枠なしの場合
不要部分が大きいまま作業をすると、剥がした素材同士、もしくは剥がした素材と必要な部分とがくっつきあい、作業しづらくなります。



- カス取り枠ありの場合
カス取り枠があると、不要部分が細かく分割されるので、作業がしやすくなります。



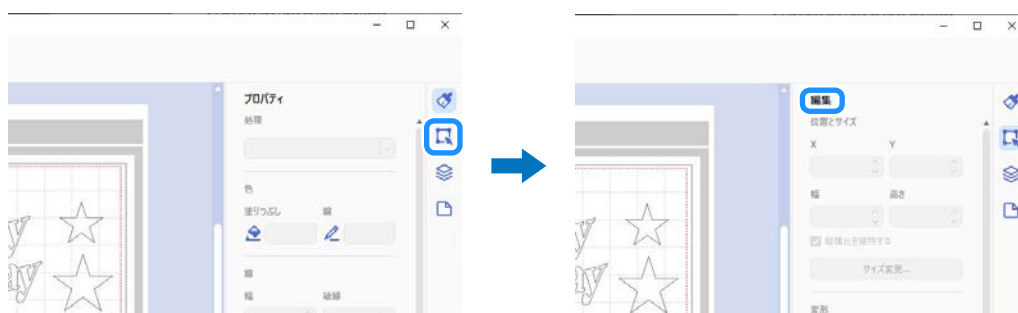
お知らせ

- CanvasWorkspace のカス取り枠追加機能は、ディズニー模様には対応していません。カス取り枠を追加する場合は、マシン本体の「カス取り枠設定」機能をお使いください。詳しくはマシン本体の「バージョン 1.5 の追加機能」を参照してください。 <https://s.brother/cmoaf/> からダウンロードすることができます。
- 機能認証後に追加される模様の一部にはカス取り枠があらかじめ付与されています。該当の模様については同梱の模様一覧をご参照ください。

カス取り線、カス取り枠を追加する

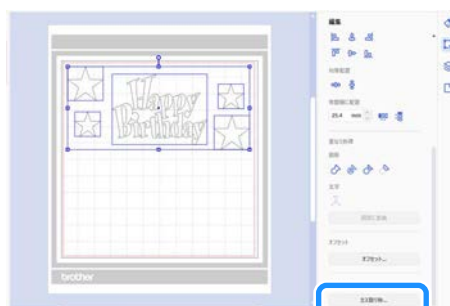
1 模様編集が完了したら、画面の右端にある「編集」をクリックします。

▶ コントロールパネルの表示が「編集」に切り替わります。



2 対象模様を選択して、「カス取り枠...」をクリックします。

▶ 「カス取り枠の生成」ダイアログが開きます。



3 「枠サイズの指定方法」のプルダウンから、カス取り枠およびカス取り線の指定方法を選択します。

■「カス取り線を追加する」

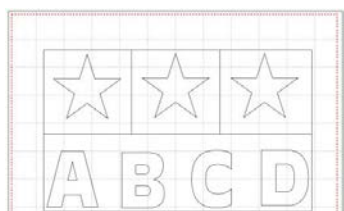


📖 お知らせ

- 対象模様にグループ化されている模様が含まれ、それらの模様の上にカス取り線を追加しない場合は、「グループにカス取り線を入れない」をチェックします。

例) 模様「ABCD」がグループ化されている場合

☒ グループにカス取り線を入れない



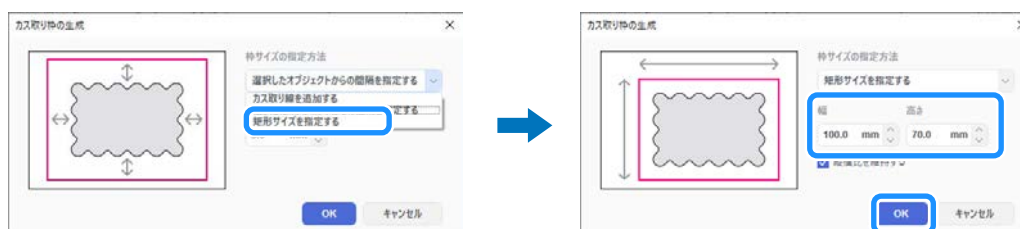
☐ グループにカス取り線を入れない



■「選択したオブジェクトからの間隔を指定する」

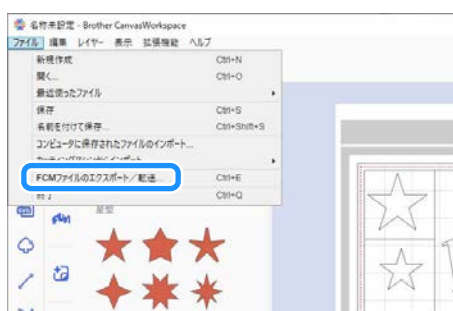


■「矩形サイズを指定する」



▶ 設定が完了したら「OK」キーをクリックします。

4 「ファイル」メニューより「FCM ファイルのエクスポート／転送」をクリックします。



5 表示された画面からお好みの方法でカットデータをカッティングマシン本体に転送します。転送方法の詳細についてはブラザーのサポートサイト（<http://s.brother/cfrae/>）をご覧ください。



① USB メモリーを使って送る

FCM ファイルを USB メモリーに保存し、マシン本体で USB メモリーからデータを読み出します。

② 無線 LAN を使って送る

カッティングマシンの無線 LAN 機能を設定して、FCM ファイルを転送します。

③ USB ケーブルを使って送る（Windows 64bit 版のみ対応）

カッティングマシンとパソコンを USB ケーブルで接続して、FCM ファイルを直接転送します。

お知らせ

- ・ 本体転送後にカス取り線、カス取り枠の編集は行えません。

分割出力機能について

分割出力機能は、マットのサイズを超えるカットデータを設定したサイズに自動で分割してマシン本体に転送できる機能です。この機能により分割してカットしたデータを貼り合わせることで、大型の作品を作ることができます。

お知らせ

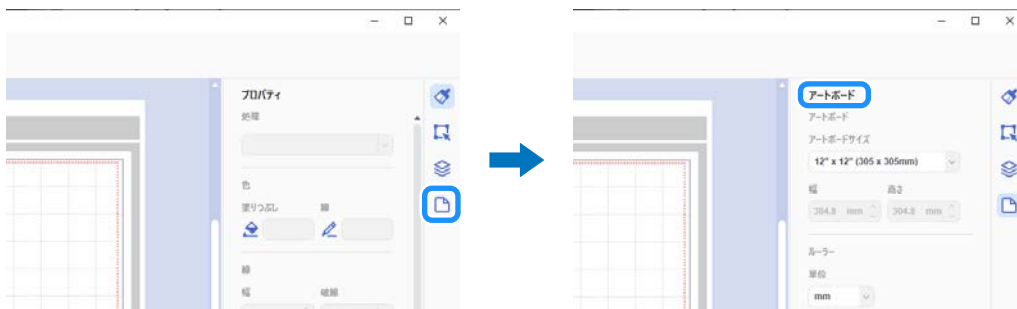
- ・ 分割出力を使ってマシン本体へデータ転送できるのは、USB メモリ経由のみです。
- ・ ディズニー模様、ラインストーンデータ、パーフォレーティングデータを含む模様、位置合わせマークを含むデータは分割出力対応していません。

大型のカットデータを分割出力する

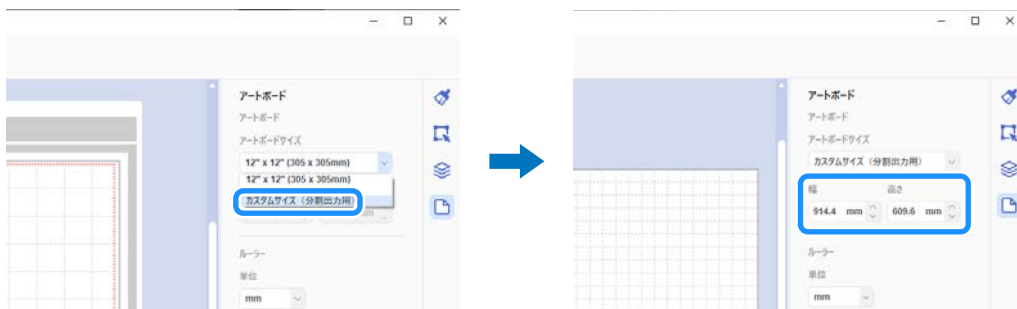
ここでは、内蔵されているロゴ、ボーダー模様を拡大して、12 インチに 6 分割してカットする手順を説明します。

1 画面の右端にある 「アートボード」をクリックします。

- ▶ コントロールパネルの表示が「アートボード」に切り替わります。



2 「アートボードサイズ」から「カスタムサイズ（分割出力用）」を選択し、仕上がりの作品のサイズを入力します。



お知らせ

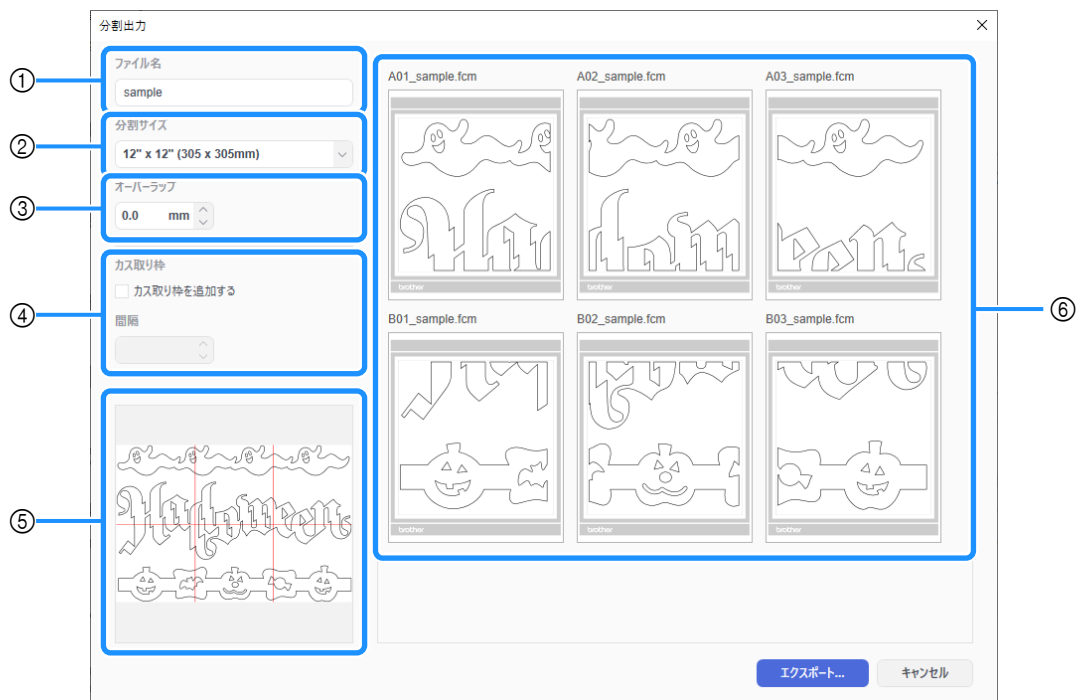
- ・ カスタムサイズで設定できる値は幅 304.9 mm (12") ~ 1498.6 mm (59")、高さ 304.9 mm (12") ~ 1778 mm (70") です。

3 お好みの模様を編集領域に配置したら、「拡張機能」メニューから「分割出力 ...」を選択します。

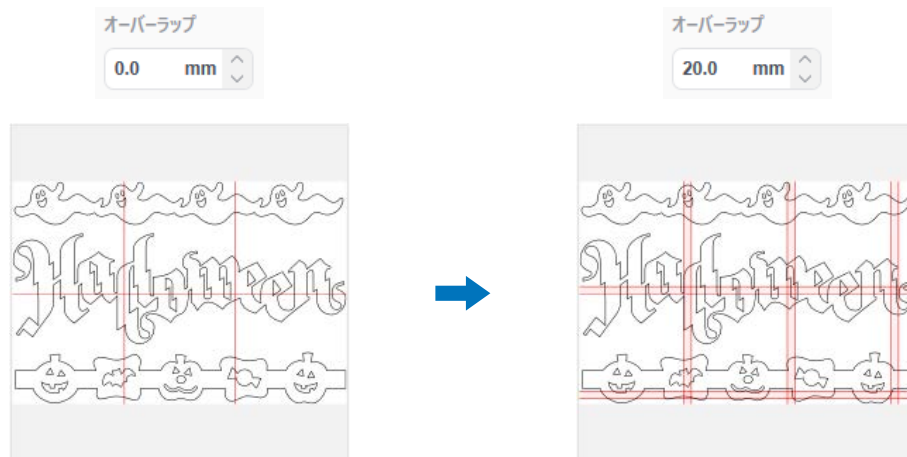
- ▶ 分割出力設定ダイアログが開きます。



4 分割出力の設定をします。



- ①「ファイル名」：
分割出力する FCM ファイル名を入力します。
- ②「分割サイズ」：
分割するサイズ（素材のサイズ）を選択します。
ロールフィーダーを使用する場合は「ロール素材」を選択します。（ロールフィーダーが認証されているときのみ選択できます。）
大型のデータを小さいサイズで多量に分割すると仕上がりサイズや模様によっては仕上がりを損なう場合がありますので、分割サイズは大き目に設定することをお勧めします。
- ③「オーバーラップ」：
分割領域を重ねる幅を 0.0 mm ～ 20.0 mm（0.0" ～ 0.79"）の範囲で設定します。
オーバーラップがない模様は貼り合わせる際に隙間ができやすくなるため、設定したオーバーラップの幅をのりしろとして使用したり、カット後に組み合わせる際の目安として使用したりするのに便利です。設定値を変更すると分割イメージプレビュー画面（5）の赤線が変更になります。設定値を変更した範囲分の分割領域が増えるため、分割結果は変更されます。



- ④「カス取り枠」：
分割した模様にかス取り枠を追加する場合は、「カス取り枠を追加する」のチェックボックスを ON にします。カス取り枠と模様の幅を変更する場合は「間隔」の数値を 0.0 mm ～ 20.0 mm（0.0" ～ 0.79"）の範囲で設定します。カス取り枠を追加した範囲分の領域が増えるため、分割結果は変更されます。
- ⑤ 分割イメージプレビュー画面：
分割元の模様は、分割する箇所が赤線で表示されます。

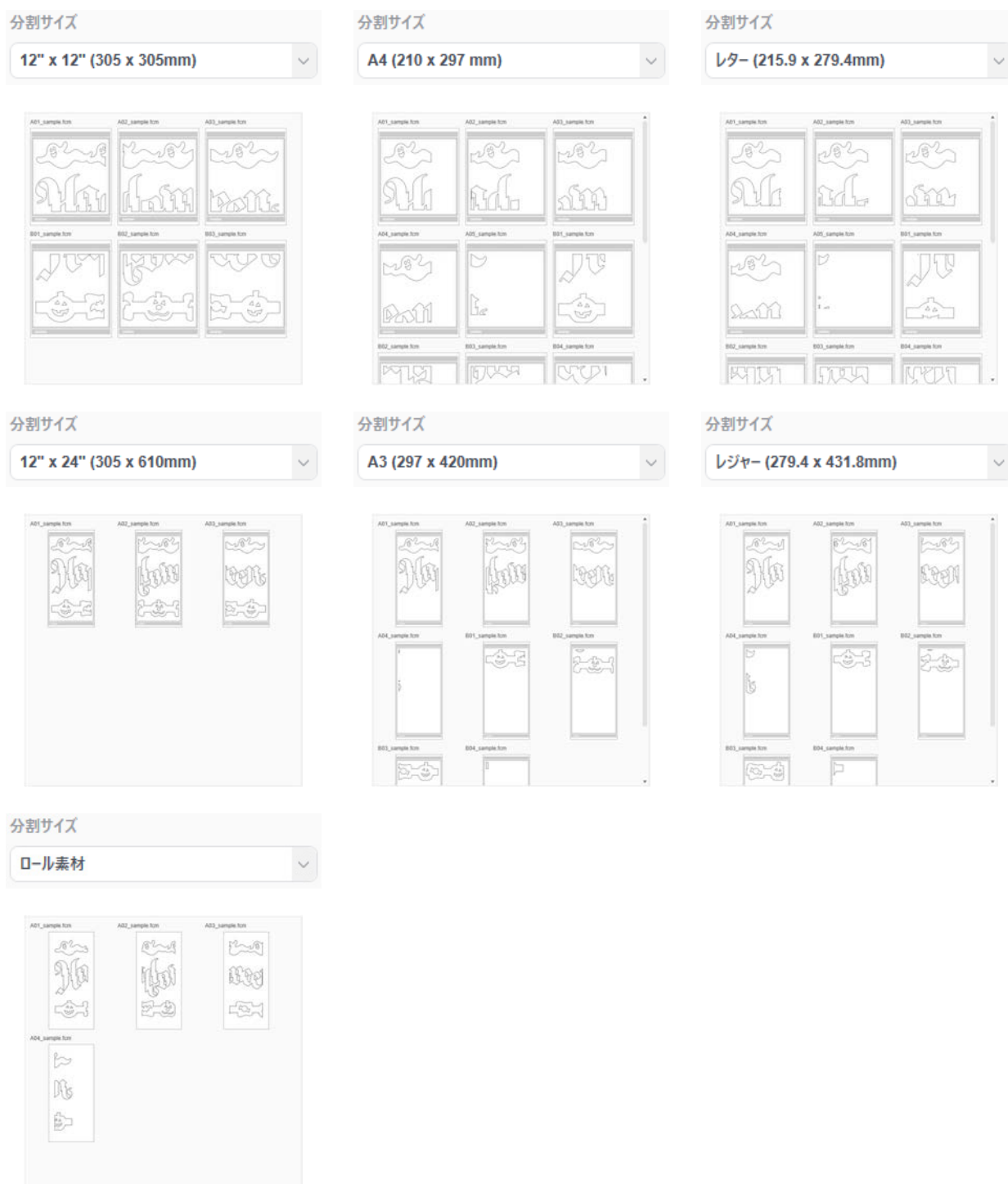
⑥ 分割結果プレビュー画面：

設定した「分割サイズ」に合わせて3列で分割結果が表示されます。

分割された順に、上から A、B、C… 左から 01、02、03… の順にファイル名に番号が付与され、「ファイル名」(1) で入力した名称が後ろに付与されます。

「分割サイズ」(2) で設定したサイズに合わせて、適したマットサイズにデータが配置されます。

配置例：



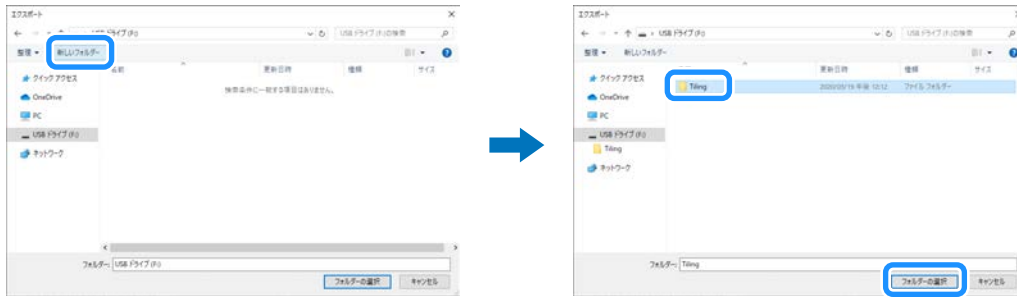
お知らせ

- 「編集」パネルの「カス取り枠...」でカス取り線またはカス取り枠を付与した模様は正しく分割されません。分割した模様にかス取り枠を追加する場合は、必ず「分割出力」画面の「カス取り枠」から設定してください。
- あらかじめカス取り線が付与されている模様を分割出力する場合は、「レイヤー」パネルでカス取り線を削除してから、「分割出力」画面でカス取り枠を設定してください。

⑤ 分割設定が完了したら「エクスポート ...」をクリックします。

- ▶ 転送先のフォルダ選択画面が開きます。

6 USB メモリー内に新しく作成したフォルダを選択し、分割データを保存します。



お知らせ

- 分割したデータを保存する際には、必ず USB メモリー内にフォルダを作成して、フォルダ内にデータを格納してください。フォルダ内に生成されたデータの削除やファイル名の変更は行わないでください。
- フォルダ内に同じ名前のファイルがある場合は、フォルダ内のデータが自動で上書きされます。

7 マシン本体の USB ポート（USB メモリー用）に USB メモリーを差し込みます。

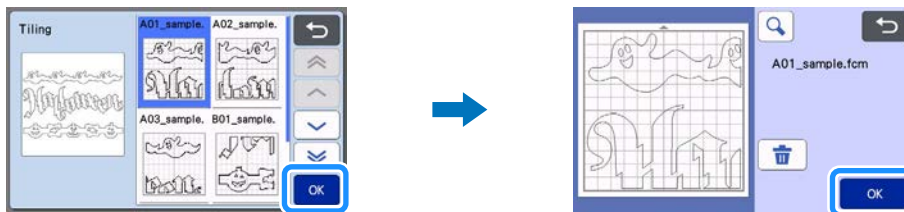
8 保存先呼び出し画面で、USB メモリーからの呼び出しキーを選択します。

- ▶ 手順 **6** で USB メモリーに作成したフォルダ名と、模様のプレビューアイコンが表示されます。ロールフィーダー模様を呼び出す場合は、「ロールフィーダー」画面から呼び出します。



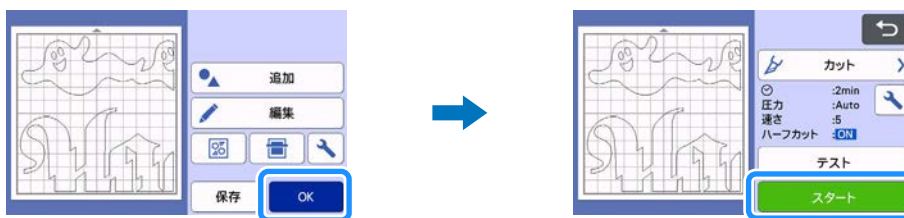
9 分割されたデータから、最初にカットする模様を選択して「OK」キーを押します。

- ▶ 選択した模様を確認したら、「OK」キーを押します。



10 必要に応じて編集したら「OK」キーを押して、カットを開始します。

- ▶ 1 つ目の分割データのカットが完了したらホームボタンを押して手順 **8** を繰り返して模様を呼び出しカットします。



お知らせ

- ビニールステッカーシートや、アイロン熱転写シートなど剥離紙や剥離フィルムのある素材を使用する場合は、模様が左右反転していることを確認し、設定画面で必ず「ハーフカット」を「ON」に設定してカットしてください。

11 すべての模様のカットが完了したら、ファイル名の番号順に従ってカットした素材を組み合わせせて作品を完成させます。

困ったときは

本製品が思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cpod/>）を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店またはブラザーコールセンターにご相談ください。

カッティングマシン本体

症状	原因（結果）	対処
分割出力したデータがマシン本体の呼び出し画面でまとめて表示されない。	USB メモリー直下にデータを保存している。	分割データを USB メモリーに保存する際には、必ずフォルダを作成してフォルダ内にデータを保存します。（P. 10）
複数の分割データが 1 つのフォルダに混在している。	分割データの保存先フォルダが正しくない。	分割データを USB メモリーに保存する時は、作品ごとにフォルダを作成して、フォルダ内にデータを保存します。（P. 10）
「スタート」ボタンがグレイアウトされている。	マシン本体のソフトウェアが最新バージョンではないため、小文字カット用ホルダーを認識していない。	マシン本体を最新のソフトウェアにアップデートしてください。アップデートの方法について、詳しくはマシン本体の取扱説明書をご覧ください。
カット素材の裏面の剥離紙までカットされている。	- 「ハーフカット」の設定が「OFF」になっている。 - 「カット圧力（ハーフカット）」が適切でない。	- 設定画面で「ハーフカット」を「ON」にします。 - 設定画面で「カット圧力（ハーフカット）」を調整します。 設定方法について、詳しくはマシン本体の取扱説明書をご覧ください。

CanvasWorkspace

症状	原因（結果）	対処
分割出力した時、模様の一部が分割結果で表示されない。	開いたパスや自己交差のパスを含むデータは分割できないため、自動的に削除された。	分割出力するデータは必ず閉じたパスになるように作成してください。

エラーメッセージ

操作中表示されるエラーメッセージの一部と、対処方法の一覧です。メッセージの指示に従うか、この表に記載される対処方法を確認して、必要な操作を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはブラザーコールセンターにご相談ください。

カッティングマシン本体のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因／対処
このホルダーは使用できません。	マシン本体のソフトウェアが最新バージョンではないため、小文字カット用ホルダーを認識していない場合に表示されるメッセージです。 マシン本体を最新のソフトウェアにアップデートしてください。 アップデートの方法について、詳しくはマシン本体の取扱説明書をご覧ください。

CanvasWorkspace のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因／対処
模様が大きすぎます。小さくしてください。(E10010)	分割出力で対応する模様サイズの上限值（1498.6 mm (59") ～ 1778 mm (70")）を超えている場合に表示されるメッセージです。模様のサイズを小さくして、再度分割出力を実行してください。
模様が大きすぎます。オーバーラップとカス取り枠の間隔を小さくしてください。(E10103)	オーバーラップとカス取りの間隔が模様サイズに追加され、対応する模様サイズの上限值を超えた場合に表示されるメッセージです。 以下のいずれかを行ってください。 - オーバーラップの幅の設定値を小さくしてください。(P. 8) - カス取り枠の間隔の設定値を小さくしてください。(P. 8) - オーバーラップ幅、カス取り枠の間隔を変更しない場合は、模様のサイズを小さくしてください。

お使いいただける素材の例

ビニールステッカーシート

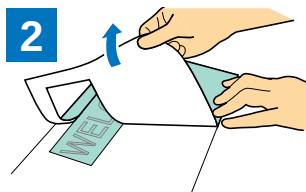
看板やウィンドウガラス、壁、車などの装飾として使われている、粘着材付きのシート材のことです。粘着材付きシートと台紙（剥離紙や剥離フィルム）の2層構造になっています。マシン本体で粘着材付きシート部分のみを文字やロゴなどの形状にカットした後、壁や車などの対象物に直接貼り付けて用います。

* シートを貼る前に小さい範囲で試し貼りをして、対象物を損傷しないことを確認して下さい。

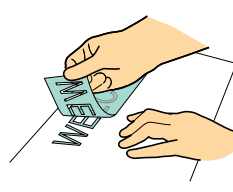
対象物にビニールステッカーシートを貼り付ける



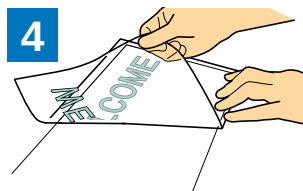
マシン本体でお好みの模様をハーフカットします。



必要な模様だけを台紙に残し、不要な部分を剥がします。（カス取り）



カス取りをして、必要な模様を残した台紙に、アプリケーションシート（*1）を貼り付けます。（*2）



バラバラに切り抜かれた模様が、それぞれの配置を変えずにアプリケーションシートに転写されます。



対象面をきれいに拭いた上で、アプリケーションシートごとビニールステッカーシートを貼り付けます。（*2）



最後にアプリケーションシートだけを剥がします。

*1 アプリケーションシートとは、転写シートやリタックシートなどとも呼ばれ、ビニールステッカーシートを対象の場所に貼る際に使用する弱粘着のシートです。ビニールステッカーシートと共にご用意ください。

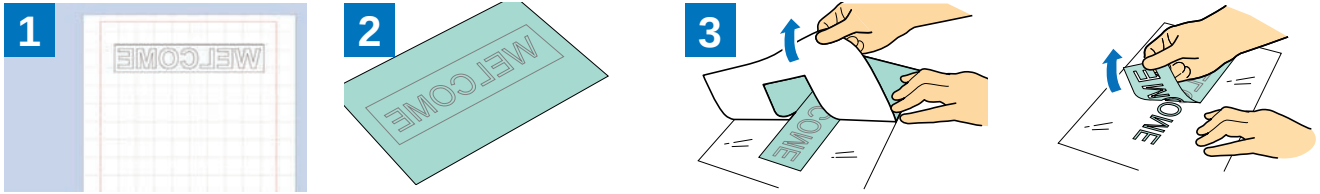
*2 アプリケーションシートを貼る際や、ビニールステッカーシートを対象物に貼り付ける際には、スクレイパー（CASCP1）やプレイヤー（CABRY1）をお使いいただくと便利です。スクレイパー（CASCP1）やプレイヤー（CABRY1）のお買い求めは本製品をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アイロン熱転写シート

アイロン熱転写シートとはTシャツ、スウェット等の布生地にも熱圧着できるシートのことです。熱で溶ける糊がついたシート材と台紙（剥離紙や剥離フィルム）の2層構造になっています。マシン本体で、熱で溶ける糊がついたシート部分のみを文字やロゴなどの形状にカットした後、台紙の上から熱転写機やアイロンで押さえることで、対象物に貼り付けます。

* アイロン熱転写シートに同梱されている説明書を参照してください。

アイロン熱転写シートを対象物に貼り付ける

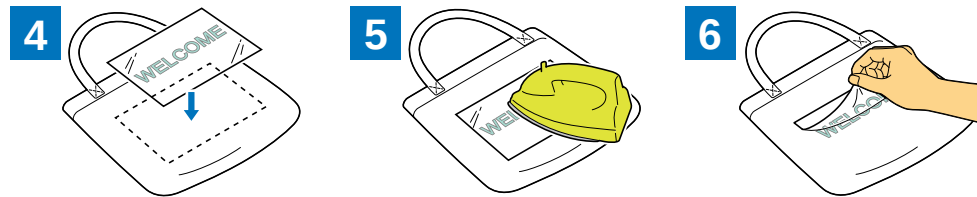


CanvasWorkspace で好みの模様を作成します。

この時、必ず模様を反転させておきます。

マシン本体で好みの模様をハーフカットします。(*1)

必要な模様だけを台紙に残し、不要な部分を剥がします。(カス取り)



布などの対象物 (*2) の上に、③ 熱転写機やアイロンで熱圧着します。台紙だけを剥がします。
の素材を台紙が上側に来るようにします。(*3)
して置きます。

*1 ロール状のアイロン熱転写シートを、ロールフィーダーを装着した本体でカットする際には、素材の巻き方向にご注意ください。詳しくはロールフィーダーの取扱説明書を参照してください。

*2 対象物が、アイロン熱転写が可能かどうかは事前にご確認ください。

*3 熱圧着するための温度設定、熱圧着時間等の条件は、ご使用になる素材により異なります。素材の取扱説明書に従ってご使用ください。

小文字カット用模様について

機能認証後に CanvasWorkspace に新たに 21 模様を追加されます。
追加される模様の一部は、そのデザインを生かすための特性を持っています。作品作りの参考のため、事前に以下の特徴をお読みください。

■ カス取り枠付き模様

以下の模様にはカット後に剥がしやすいようにあらかじめカス取り枠が付与されています。
分割出力機能を使用する場合は、レイヤーパネルでカス取り枠を削除してから分割出力してください。
カス取り枠を付けて分割出力する場合は、必ず「分割出力」画面の「カス取り枠を追加する」にチェックを入れてカス取り枠を設定してください。



■ ステンシル用模様

以下の模様は、ビニールステッカーシートをステンシル用途で使用することを想定した模様です。
カット後は白色部分をカス取りし、ステンシル用としてご使用ください。

